

自民党

2026年
9月号明石市議会
自由民主党明石

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

明石の未来に責任を。今こそ、確かな市政運営を

平素より、自由民主党明石の活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私たちは今、明石市政が大きな転換点を迎えていると考えています。人口減少・少子高齢化、物価高騰、社会保障費の増大、公共施設や道路など都市基盤の老朽化、そして近年頻発する自然災害への備え。市民生活を取り巻く課題は、これまで以上に複雑かつ深刻になっています。

こうした時代だからこそ、政治には「耳ざわりの良い言葉」ではなく、**将来を見据えた責任ある判断と、実行する力が求められています。**

子育て支援や教育の充実はもちろん重要です。しかし、それだけではありません。高齢者が安心して暮らせる地域づくり、災害に強いまちづくり、地域経済の活性化、公共交通の充実、道路・公共施設などの都市基盤整備。そして、**将来世代に過大な負担を残さない持続可能な財政運営。**私たちは、これらを一つひとつ着実に進めていかなければならない

と考えています。

「今、何をすべきか」だけではなく、「10年後、20年後の明石をどうするのか。」この視点を決して忘れず、市民の皆さまからお預かりした大切な税金が、本当に必要なところへ使われているのかを厳しく検証し、必要な政策については積極的に提言してまいります。

「明石を、さらに強く。さらに住みよく。そして、次の世代に誇れるまちへ。」そのために、現場を大切に、議論すべきことは真正面から議論し、必要なことには果敢に挑戦してまいります。

これからも皆さまの声を市政に届け、明石の未来を切り拓くため、会派一丸となって全力で取り組んでまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

明石市議会 自由民主党明石 幹事長 三好 宏

旧図書館跡地に「地域交流センター」整備へ

明石公園内に残る旧明石市立図書館の跡地の再整備を巡って、3月議会では修正案が提出されるなど、整備計画の見直しが必要となりましたが、明石市は旧図書館を撤去したうえで、文化芸術活動や地域交流、防災、公園利用者の活動を支える「(仮称)旧市立図書館跡地地域交流センター」の整備を目指して、基本設計の修正案をまとめました。

跡地は明石公園の中でも明石駅から近い場所に位置し、明石市は兵庫県と連携し、単に旧施設を解体して返還するのではなく、**新施設の整備と一体的に跡地を活用する方向へ舵を切ったこと**になります。また、災害時には地域の防災拠点としての機能も期待されているほか、駅周辺と明石公園をつなぐ新たな公共空間としての役割にも注目が集まっています。



自由民主党明石としても、国に対する財政支援の要望も含めて、この整備を明石駅周辺の回遊性にぎわいを高める取り組みのひとつとして捉えています。**文化、交流、防災、公園利用という複数の機能を組み合わせ、市民が気軽に立ち寄り、活動できる新しい公共空間**となることを大いに期待しているところです。



明石の未来を支える「稼ぐ力」

自由民主党明石では、明石市がこれまで進めてきた子育て支援や福祉、教育などの施策を将来にわたって持続させ、さらに必要な社会基盤整備を着実に進めるためには、**財政基盤そのものを強くすることが不可欠**であると考えています。

人口構造の変化や社会保障費の増加に加え、市役所新庁舎、市民病院、上下水道、道路や公共施設など、今後の明石市には大きな更新需要が控えています。行政サービスを守るためには、単に支出を削減するだけでは限界があります。**地域経済を活性化し、企業や雇用を増やし、新たな所得と税収を生み出す「稼ぐ力」を高める政策が必要です。**

こうした問題意識のもと、自由民主党明石では、先進的な産業政策・スタートアップ支援に取り組む仙台市と浜松市を視察し、今後の明石市の経済政策について知見を深めました。

裏面に続く



仙台市では、行政が長期的な視点を持ちながら、東北大学をはじめとする大学、企業、金融機関、起業家などと連携し、起業や新産業を地域全体で育てる仕組みを構築しています。単発の補助制度ではなく、相談、創業、成長、資金調達までを一体的に支援している点が大きな特徴です。

浜松市では、ものづくり産業の集積を生かしながら、市と地域金融機関が強く連携し、起業家や企業に対する伴走型支援を進めています。特に、浜松いわた信用金庫が運営する



「FUSE」など、行政だけではなく地域の民間主体が経済成長を支える仕組みは、明石にとっても大いに参考になるものでした。

自由民主党明石は、「福祉か経済か」ではなく、「福祉や市民サービスを守り続けるためにこそ、強い経済と財政が必要である」と考えています。今回の視察で得た知見を明石の特性に合わせて具体化し、企業の成長、創業支援、雇用創出、地域内投資を促進する政策へとつなげていきます。

明石のやさしさを守るために、強い財政と経済をつくる。その実現に向け、自由民主党明石は政策提案を続けてまいります。



明石の医療の未来について

約3年前、会派で明石市立市民病院を視察し、平成3年に竣工した施設の老朽化を目の当たりにしました。それ以来、自由民主党明石では、市民病院の早期建替えを目指し、何度も提言してきました。

中でも、現在建替えが進む県立がんセンターの跡地への移転を強く提案してきました。現在の市民病院からも近く、がんセンターとの連携により地方交付税措置の上乗せも期待できることから、主に財源確保の観点で有効だと考えてきたからです。

しかし先日、会派で浜松市と静岡県を訪れ、先進事例である「地域医療連携推進法人」について学び、財源のことだけでなく、20年、30年先の明石の医療を見据えた建替えが必要だと強く感じました。

明石市内の病院の退院患者シェアは、専門病院である県立がんセンターを除くと、明石医療センターが約44.8%、市民病院が約16.5%を占め、その他を地域の中規模病院が支えています。しかし、この体制が将来も続くとは限りません。明石医療センターをはじめ、市内には民間病院も多く、経営環境の変化などにより病院の規模や機能が縮小すれば、市内の医療バランスが大きく崩れる可能性があります。

静岡県では「地域医療連携推進法人」の仕組みを活用し、複数の医療機関が連携することで、それぞれの病院の存続だけでなく、医師不足を補いながら地域全体の医療を支えています。

明石市は比較的小さいコンパクトな市であり、市内の病院が減ったとしても近隣市町の病院を利用することはできます。しかし、30万人を超える人口を抱える本市が、医療を他市町任せにして「しっかりとした住民サービスを提供している」と果たして言えるでしょうか。

だからこそ、市民病院の建替えを「一つの病院の建替え」で終わらせるのではなく、がんセンターだけでなく、市内の医療機関それぞれの役割や将来像を見据え、明石市全体で医療を支える連携を構築していく時期に来ていると自由民主党明石は考えます。

明石の子育て施策に魅力を感じ、移り住んでくださった方々が、子育てを終え、ご自身が医療サービスを必要とする20年、30年後にも、「あの時、明石に越してきてよかった!」と、もう一度感じていただけるまちでありたい。

子育てのまちとして選ばれるだけでなく、その後も安心して住み続けていただける明石を目指し、未来を見据えた地域医療を考えていきます。



みよし ひろし 5期目
三好 宏
西明石南町2丁目
Tel: (事務所) 078-922-0201
Mail: ganbare@miyohiro.net
【所属委員会】
文教厚生委員会



いとう たいじゅん 2期目
井藤 圭順
太寺2丁目
Tel: (事務所) 078-911-4087
【所属委員会】
生活文化委員会 委員長



いづも ゆきこ 1期目
出雲 有希子
(事務所) 大道町2丁目
Tel: (事務所) 080-9333-7331
【所属委員会】 文教厚生委員会

明石市議会 自由民主党明石

私たち明石市議会 自由民主党明石は7名の議員で構成。明石市議会の重責を担う会派としての責任と覚悟を持って市民の皆さまの代表者として頑張っています。

はいの しゅうへい 2期目
灰野 修平
大久保町駅前1丁目
Tel: (事務所) 078-936-0055
Mail: haino0055@gmail.com
【所属委員会】
建設企業委員会



えのもと かずお 4期目
榎本 和夫
大久保町高丘6丁目
Tel: (事務所) 080-4007-4148
【所属委員会】
生活文化委員会



なつみ こうじ 5期目
辰巳 浩司
東仲ノ町
Tel: 078-911-4834
【所属委員会】
総務委員会 副委員長



いしい ひろり 2期目
石井 宏法
林3丁目
Tel: 078-922-1181
【所属委員会】
建設企業委員会



ご意見・お問い合わせ

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

明石市議会
自由民主党明石

FAX 078-918-0466

MAIL contact@jimin-akashi.jp

HP <https://jimin-akashi.jp>

※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。※この広報紙は政務活動費で発行しています。